

研究テーマ「平和・人権教育と国際連帯の広がりをめざして」

I 研究の内容

1 研究の方法

- (1) 部員各自の実践の報告
- (2) 情報交換，情報提供による学習
- (3) 授業提案による研究（統一授業研）

2 研究経過

5月 7日	テーマ，研究内容決定
5月21日	研究計画，春季教研環流報告
6月 4日	実践報告，授業案検討
8月 4日	授業案検討 臨地研修「勝沼授産園」
8月29日	統一授業研究
10月 1日	実践報告
11月26日	実践報告，県教研環流報告
1月14日	実践報告，授業案検討
2月 4日	統一授業研究
2月18日	全国研環流報告，研究のまとめ

II 成果と課題

1 成果

- ・一人一実践を通して，実践交流ができ，広がりがもてた。
- ・2つの授業研究を通して話し合いを深め，特に人権教育について学ぶことができた。
- ・人権について考える授業では，子どもたちなりにできることを考え，今後の活動につなげることができた。
- ・「ちがいがあから」の授業では，みんなちがってみんないいんだということを知ることができた。
- ・子どもたちの生活課題を土台とした授業実践をいくつも行うことができ，こうした実践や研究の中から，目の前にいる子どもたちの課題解決のために何が大事か，何ができるのかを改めて学ぶよい機会となった。
- ・平和・人権教育と国際連帯の広がりをめざし，一人一実践や授業研究，臨地研修や学習会等を通じ，計画的に取り組んだ結果，子どもたちを取り巻く様々な問題を共有・認識することができた。

- ・国際理解教育と平和教育にも深く関わっているが、その根幹をなすものとして、人権教育があることを確認できた。
- ・意見を述べやすい雰囲気、議論の深まりが見られた。
- ・指導・助言の中で、テーマに関わる資料を出してくださり、多くのことを学ぶことができた。

2 課題

- ・部員の固定化と少人数化。メンバーが少なく、中でも学級担任があまりいないので、授業者が限られてしまう。
- ・平和・人権教育、国際連帯に関わる講演会や研究会など、講師を招いての学習会も考えたい。

III 成果物

1 指導案

- ・5年 道徳学習指導案「人権について考えてみよう」 田邊 博幸（大和小）
◇ねらい：公正・公平の大切さを自覚し、だれに対しても差別する心や偏見をもつことなく、よりよい社会の実現（人権を守る・大切にすること）に努めようとする心情や態度を育てる。
- ・2年 学級活動指導案「ちがいがあから」 檜垣 貴子（塩山北小）
◇ねらい：友達との違いに気づき、認めよう。

2 実践報告資料

- ・国際連帯実践「外国籍児童の転入に関わって」 中村 勝（加納岩小）
- ・人権教育実践「いろいろな人たち」 三森 公仁（塩山南小）
- ・人権教育実践「ともだちとなかよく」 山宮 由紀（日下部小）
- ・平和教育実践「マララ・ユスフザイさん」 甘利志賀峰（塩山南小）

3 提供資料

- ・人権教育資料「子どもはひとりの人間だよ！」
〃 「子どもの権利条約をみんなのものに」
〃 「いじめ問題と人権問題」 甘利志賀峰（塩山南小）
- ・国際連帯資料「イスラム教とは」
〃 「私が思う香港民主化デモについて」
人権教育資料「ニューカマー外国人の子どもの教育を受ける権利と就学義務」
高添 勉（大藤小）

（部長 中村 勝）